

# 労働安全衛生



化学物質を取り扱うことによる災害や健康被害は依然として化学メーカーとしては大きなリスクと考えています。従業員をはじめ事業に関わる全ての人々の安全を確保しリスク最小化のための投資や教育などに取り組みます。

## グローバル安全衛生活動

### 海外グループ会社への安全統制支援

当社グループは海外関係会社における安全環境活動に対して、積極的な支援を継続的に実施しています。2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、現地へ訪問しての支援ができませんでしたが、NIPSEA Safety & Sustainability Councilや拠点別でのウェブ会議を通じて、各国の活動、リーダーの力量の向上に取り組みました。

2020年度より、火災・爆発など操業停止に関わる重大リスクとその是正を主たる目的とした評価リストをリニューアルし、海外関係会社へ展開しながら、重大災害の未然防止に努めています。2017年度以降は海外の労働災害発生件数が増加しましたが、これらは集計範囲を拡大したことが主な要因です。

## 日本における取り組み

当社グループでは「安全は全てに優先する」という考え方のもと、災害発生の未然防止に取り組んでいます。

2020年度は、「RC委員会」や「グループ安全環境会議」、「グループ製品安全会議」を通じて全従業員(構内業務請負会社を含む)が安全衛生活動の改善や問題解決に取り組みました。

2020年度のグループ災害件数は、前年度と比較して7件増加しましたが、休業災害については6件減少しました。安全衛生活動の根幹であるリスクアセスメント活動においては、近年、増加傾向であった「転倒」「動作の反動、無理な動作」による災害について重点見直し対象として推進しました。また、グループ内で発生した災害については国内グループへ展開し、現場のルールや安全対策を見直し、管理強化を図りました。

2020年度の国内グループ共通での安全研修は以下の通りです。

- 新入社員安全研修(ウェブ研修) : 97人受講
- 新入社員フォローアップ(ウェブ研修) : 78人受講(研修内容:危険予知訓練、静電気安全講習、製品安全講習)

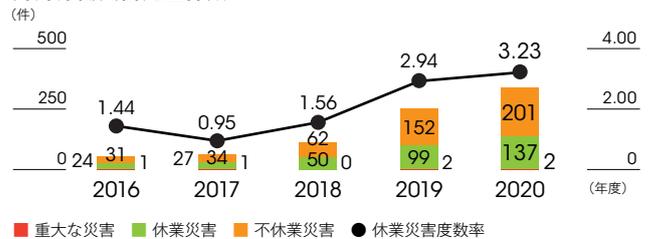
※5 集計範囲

2020年度: NIPSEA、NPAC、NPMC、Dunn-Edwards、DuluxGroup、Betek Boya  
 2019年度: NIPSEA、NPAC、NPMC、Dunn-Edwards  
 2018年度: NIPSEA、NPAC、NPMC  
 2017年度: NIPSEA、NPAC(2016年+Asia)  
 2016年度: NIPSEA、NPAC(欧州、米州のみ)

海外休業災害度数率※5



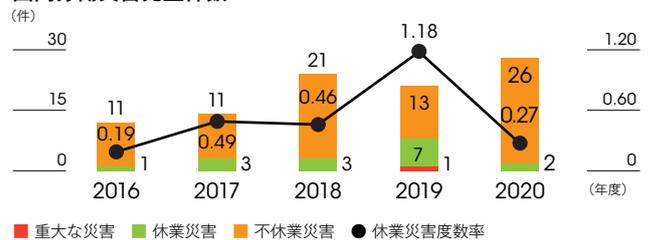
海外労働災害発生件数※5



国内休業災害度数率※3



国内労働災害発生件数※3



雇用形態別災害発生件数※3

